空き家等の福祉転用による地域包括ケアのしくみづくり事業

（一般社団法人かながわ福祉居住推進機構）

課題と目的	・全国的に問題となっている空き家の増加への対策が求められている。 ・地域包括ケアシステムの構築のために、身近な地域に拠点の確保が必要となっている。
取組内容	・空き家等を福祉的に活用することについて、政令市等の状況を調査する ・福祉的活用が成功している事例の特徴を分析・整理する ・横浜市内でセミナーを開催し、空き家の福祉的活用の意義を紹介するとともに、取り組みのポイント等の手引を作成して周知する。
成果	・空き家の福祉的活用により、課題を解決する一つの手法を提供した。 ・取り組む際に遭遇する問題及びそれを克服する方法を収集できた。 ・研修会やセミナーにより、空き家の福祉的活用の意義を広めることができた。

取組内容１	取組内容２	取組内容3
自治体の所管課へのアンケート調査	特徴的な活用事例の分析	研修会と活用の手引き
・政令市・神奈川県内市町村等の空き家対策所管課及び地域包括ケア所管課に空き家の福祉的活用の状況等をアンケート調査 ・空き家の福祉的活用について、積極的に進めている自治体は多くない。	・自治体からは、67の事例が提供された。 ・独自の調査により31事例を収集した。 ・把握した事例の一部について、訪問調査等によりさらに状況を把握した。	・空き家の福祉的活用の意義や事例、留意点について、研修会を3回開催して公表した。 ・取り組む際の留意点等について手引きを作成し、解説するとともに、事例・資金助成等の制度を紹介した。

回答の概要（空き家対策所管課）

		空き家対策					福祉への活用	
区分	回答数	独自に空き家実態調査実施	空き家バンクを開設	関係団体と連携	県居住支援協議会に積極的参加	市住支援協議会の設立	制度有り	着目していない
指定都市	14	11	4	14	4	5	4	9
神奈川県内市町村	20	15	11	14	13			20
東京都特別区	11	10		7	2	4	2	5
中核市	26	21	14	21	8	3	3	21
計	71	57	29	56	27	12	9	55

※ 県内の政令指定都市は「指定都市」に掲載

目次

1．はじめに
1－1　空き家・空き部屋の福祉転用の意義
1－2　手引きの活用方法についての説明

2　空き家等を福祉に活用する時の留意点
A　空き家所有者・不動産業者向けの手引き
空き家を活用して福祉利用を考えている人に
A－1　福祉活用の意義・利点を知る
A－2　所有の空き家の利用価値の判断と情報提供
A－3　利活用の方法
A－4　運営事業者の選定と協議
A－5　利用できる制度、補助金
A－6　工事の実施
A－7　維持管理と地域との関係づくり

B　開設・運営事業者向け　の手引き
一環として空き家を拠点として利活用したい人に
用による利点を知る
調査
り
づくり主体向けの手引き
この地域における空き家の福祉転用を考えている人に
況を知る
する
な拠点機能を把握する
テムを目指した計画的な展開
に運営
トフォームを形成すること